

宗祖御遠忌記念事業【高山別院本堂等御修復 第二期工事】

耐震補強工事・諸設備整備工事・内陣荘厳御修復工事

施工業者を決定・12月上旬工事着工

御遠忌記念事業の第二期工事については、本年6月以降、耐震補強工事及び諸設備整備工事、本堂内陣荘厳御修復工事について施工業者決定のための手続きを進めてまいり、耐震補強工事及び諸設備工事については、9月12日の入札により「奥原建設株式会社」が落札しました。また、内陣荘厳御修復工事については、9月19日、4社から見積書の提出がなされ、記念事業部会内に設けられた工事専門委員会により「株式会社小堀」が選出されました。これをうけ、院議会等諸手続きを経て、12月19日には宗派の承認がなされました。

すでにお知らせのとおり、別院報恩講後の11月8日には御本尊動座式が執行されており、修復仏具の搬出や物品の移動がなされ、12月上旬からは仮囲いが始まり、本堂内では畳の搬出と小屋裏工事のための足場の設置がほぼ完了しています。1月からは、いよいよ本格的に工事に取り掛かってまいります。

なお、工期については、現在のところ11月下旬までを予定いたしております。

※ 工事内容については「御遠忌通信 第6号」をご参照ください。

〔耐震補強工事・諸設備整備工事(付帯工事)〕

落札業者 奥原建設株式会社
本社：岐阜県高山市総和町3丁目90番地
創業：大正8年
資本金：30,000,000円 代表取締役：奥原崇司
落札価格 ￥250,000,000円(税込価格：270,000,000円)
設計見積価格 ￥269,990,000円(税込価格：291,589,200円)

〔内陣荘厳御修復工事〕

決定施工業者 株式会社小堀
本社：京都市下京区烏丸通り正面上る
創業：安永4年(1775年) 会社設立：昭和25年1月
資本金：60,000,000円 代表取締役社長：小堀正
見積提出価格 ￥35,000,000円(税込価格：37,800,000円)

別院列座職員からの寄付による嘉念坊上人厨子の御修復について

このたびの内陣荘厳御修復工事については、御遠忌総計画予算の限度により、嘉念坊上人の厨子については修復範囲となっておりますでしたが、11月15日の院議会後に、別院列座職員から嘉念坊上人の厨子の御修復を寄付(約450万円)により行う申し出がありました。改めて、12月14日の統括本部会議及び記念事業部会合同会議においてその願いの旨を確認し、御修復に加えることが決定されました。嘉念坊上人厨子の修復については、再来年の嘉念坊善俊上人祥月命日までの完了を目指します。



工事期間中は、ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願ひ申し上げます。

【施工業者の選定手続き】

- 6月16日 第19回記念事業部会
実施設計図書及び事業費見込額について説明。第一期工事と同じく、記念事業部会内に工事専門委員会(作業部会)を設けて、業者決定の手続きを行うことを決定。
- 7月13日 第1回工事専門委員会
耐震補強工事、諸設備整備工事について実施設計図書の最終確認を行う。内陣荘厳御修復工事内容について、修復仕様書の最終確認を行う。入札手続きについての確認を行う。
工事専門委員会：幹事・副幹事・責任役員・副議長・正副門徒会長・設計士・事務局長の13名。
- 7月25日 第2回工事専門委員会 入札指名業者の選考。
- 8月3日 第3回工事専門委員会
耐震補強工事、諸設備整備工事について、入札指名業者を8社選定。
内陣御修復工事については4社を決定。
耐震補強工事、諸設備整備工事の入札指名業者にメールと電話で連絡する。

<耐震補強・諸設備整備工事>

- 8月4日 耐震補強工事、諸設備整備工事について、入札指名業者宛に設計図書、入札日程及び諸注意についての通知文書を送付。
- 8月8~10日 耐震工事及び諸設備工事についての現場説明会を実施(全8社、各社ごとに実施)。
- 8月25日 耐震工事及び諸設備工事についての質問事項提出期限。
- 9月1日 耐震工事及び諸設備工事についての質問事項に対する回答を送付。
- 9月4日 H社辞退届提出。
- 9月8日 F社辞退届提出。
- 9月12日 入札予定価格の決定。
入札及び開札を実施(入札参加業者6社)
執行者：出雲路事務局長 係員：益田主計・石井別院会計・三枝別院囑託
立会人：白鳥設計士・小原委員長・谷澤副委員長・旭野幹事・三島副幹事
入札結果：2回目の入札で奥原建設(株)と丸仲建設(株)が同額となったため、くじ引きにより奥原建設(株)を落札業者として決定。
落札額：¥250,000,000円(設計見積価格：¥269,990,000円)
<第1回目入札結果> 奥原建設(株)・丸仲建設(株)：258,000,000円(二社同額)
A社：260,000,000円、B社：268,000,000円
C社：298,000,000円、D社：299,000,000円
<第2回目入札結果> 奥原建設(株)・丸仲建設(株)：250,000,000円(二社同額)
⇒ くじにより奥原建設(株)を落札業者として決定。【価格はすべて税別】
- 9月12日 工事専門委員会に入札内容について報告し了承を得る。

<内陣荘厳御修復工事>

- 8月9日 内陣荘厳御修復工事について、入札指名業者4社へ電話連絡をする。
- 8月22日・24日 内陣荘厳御修復工事について、現場説明会を実施(全4社、各社ごとに実施)。
- 9月8日 文書により記念事業部会の了解を得て、入札方式から見積書提出方式に変更する。
- 9月14日 内陣修復工事寺院視察を実施。記念事業部会幹事・御遠忌事務局
大谷派岐阜別院・本願寺岐阜別院・安養寺(郡上)・往還寺(二組)・西教寺(朝高)
- 9月19日 内陣修復工事見積書提出。(4社)
- 9月21日 工事専門委員会で見積提出内容を比較検討し、(株)小堀を選出。

<耐震補強及び諸設備整備工事・内陣修復工事の施工業者最終決定>

- 9月28日 統括本部会議・記念事業部会合同会議 工事専門委員会からの報告を受け施工業者を決定。
耐震補強及び諸設備整備工事：奥原建設(株) 内陣修復工事：株式会社 小堀
- 10月11日 院議会臨時会 境内地の模様替えについて可決
- 10月22日まで 公告期間(本堂に貼り出し)
- 10月23日~11月22日 申立期間(申し立ては無し) 終了後、宗派上申 12月19日 宗派承認

御遠忌記念事業 「莊川桜」真宗本廟植樹式



飛騨真宗の語りべでもある「莊川桜」を東本願寺に植樹しよう！ 本山の宗祖御遠忌を目の前にした2010年頃、教区内でそんな声が沸き上がりました。

そしてその念願がかない、高山教区・高山別院の宗祖御遠忌の記念事業として、2017年12月11日、快晴の中、大谷暢頭門首夫妻、宗務総長他本山役職者、植樹を手掛けていただいた加藤造園（植弥）のご参列をいただき「莊川桜真宗本廟植樹式」が執り行われました。当日は、高山教区、特に莊川組・白川組から多くのご参加をいただき、100人を超える方に植樹式を見届けいただきました。

植樹された莊川桜は高さ約6メートル、阿弥陀堂南側、今年8月に竣工した和敬堂へ通ずる動線の広々とした境内地に植樹されました。来年4月の春の法要の頃には、花を咲かせることが期待されます。

植樹式の中では、発起人のお一人である渡邊登さん（参議会議員・莊川組蓮勝寺門徒）から「莊川桜植樹に寄せて」としてご挨拶をいただき、嘉念坊善俊上人からの飛騨真宗の歴史に触れ、江戸時代に本山からお輿入れされた佐奈姫さまにまつわるお話をいただきました。

渡邊登様から、このたびの植樹事業にあたり莊川桜の運搬植樹にかかる経費相当額をご寄付いただきました。



「莊川桜」植樹に寄せて 渡邊登氏



但馬弘宗務総長挨拶



小原正憲御遠忌委員長挨拶



鋤入れ式

御遠忌・御修復懇志金収納状況のお知らせと御礼

12月26日現在における御遠忌の懇志金収納状況について、次のとおり御進納いただいておりますことを報告いたします。尊い御懇念をお寄せいただきましたこと厚く御礼を申し上げますとともに、今後ともご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

収納総額 362,298,021円

【内訳】 御遠忌御修復懇志金	321,158,355円	(収納率：80.2%)
住職寺族懇志金	19,050,000円	(収納率：89.7%)
特別懇志金	21,398,500円	(収納率：125.2%)
一般懇志金	691,166円	(収納率：33.2%)



高山教区・高山別院 宗祖親鸞聖人御遠忌通信

—宗祖御遠忌法要教化・本堂等御修復工事 推進—

第7号 2017年12月26日 <発行> 高山教区・高山別院 宗祖御遠忌推進委員会

高山別院本堂 御本尊動座式を執行

—本堂御修復第二期工事に向けて—

御遠忌記念事業第二期工事に向けて、別院報恩講勤修後の11月8日（水）、御本尊動座式が執り行われ、御本尊阿弥陀如来像と嘉念坊善俊上人絵像が仮本堂となる庫裏ホールに動座されました。

動座式には、小原正憲御遠忌委員長、三島多聞高山別院輪番をはじめ、教区別院及び御遠忌委員会の役職者、坊守会、大谷婦人会、真宗同朋会の代表の方々に動座列にご参列いただき執行されました。

午前10時に開式となり、本堂で読経後動座列が組まれ出発、当日は向拝から出て外を通り仮本堂へ移動する予定でしたが、雨天のため高廊下を通ってのご移動となりました。仮本堂では御本尊そして嘉念坊善俊上人が安置され、約50人の参詣の方々と共に「正信偈」三淘六首引きのお勤めを行い、三島輪番、小原御遠忌委員長に挨拶をいただき、滞りなく動座が完了となりました。

以後、御本尊が還座されるまで、仏事については仮本堂において行われ、御坊会館も閉鎖となることから、各種研修会や会議についても仮本堂又は別院会館で行われることとなります。



※ 親鸞聖人、蓮如上人及び太子七高僧他絵像は工事期間中に表具の修復を行います。

別院本堂修復第二期工事着工へ—統括本部会議・記念事業部会合同会議— —耐震補強工事・諸設備整備工事施工業者の奥原建設(株)から工程説明—

このたび、9月12日の入札をはじめ諸手続きを踏まえて、第二期工事施工業者が決定されました（本紙 2.3 頁参照）。これをうけて、2月14日、統括本部会議と記念事業部会の合同会議が開催され、施工業者となる奥原建設(株)からご挨拶と工程説明がなされました。

奥原建設(株)代表取締役社長の奥原崇司氏からの挨拶では、大切な本堂であり、誠心誠意をもって工事にあたることをお話しいただきました。



奥原崇司社長挨拶